

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここっと。城東		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門療育者が多く店舗に在籍しており、利用者様に必要な療育を継続して行っている。	言語聴覚士・作業療法士が在籍しており、継続的な支援ができるように職種間で情報共有をしている。小さな変化や成長、困りごとを療育に活かしている。	継続した専門療育の実施が出来るように配置職員の検討や情報共有の重要性を全職員に伝えていく。
2	児童の特性や性格に合わせて職員一人ひとりが対応している。	小学校教諭や保育士、幼稚園教諭等様々な資格をもった職員が在籍しており、様々な視点から支援サポートをしている。定期的に研修の実施や終礼で児童の情報共有を行い、職員全員で情報の周知をしている。	今後在籍職員が変わる可能性もあるため、職員の教育を引き続き行う。既存の情報は漏れがないように、また情報更新を都度行っていく。
3	療育、生活・就学のサポートやイベントが充実しており、保護者様や利用者様の満足度が高い。	細かなニーズの把握や対応、保護者様と連携を密にとるなどを全職員で行っている。イベントも利用者様が楽しめるものを考え利用者様それぞれのレベルにあったものを提供している。	引き続き同様のサポートの質が均一に図れるようにする。保護者様との信頼関係を築き続けるようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職員の偏りがあること。言語聴覚士・作業療法士は在籍しているが心理士が店舗に不在である。	会社の人員配置や役職等で店舗に全ての専門職の配属が難しい。	ご希望がある方には、個別で希望の専門職との関りが持てるようにする。場合によっては個別面談なども行う。
2	ペアレントトレーニング、保護者会の実施。	保護者会の場を提供するイベント実施などを行っているが周知出来ていない。	モニタリングペアレントトレーニングや保護者会の希望を伺う、場所の提供をする場合には改めて保護者様へ周知をする。必要に応じて情報提供ができるようにする。
3	地域の児童や外部との関りが少ない。	個人情報の保護の観点から実施できていない。	希望がある方は情報を聞いて提供をするなど関りを持てるようにする。